

2025 年 10 月 22 日

Daimler Truck、HHLA、川崎重工が 欧州向け液化水素サプライチェーン構築に向けた戦略的パートナーシップを開始

Daimler Truck AG、Hamburger Hafen und Logistik AG (HHLA)、川崎重工業株式会社は、ドイツ・ハンブルク市で開催された国際見本市「Hydrogen Technology World Expo」において、液化水素のサプライチェーン構築に関する覚書（MoU）を締結しました。

本パートナーシップは、ハンブルク港を経由して欧州内陸部へ液化グリーン水素を供給する、信頼性が高く経済的なサプライチェーン構築の可能性を検討することを目的としています。

この協業により、水素生産国からドイツへの液化水素の輸入が可能となり、ハンブルクの持続可能なエネルギー物流の拠点としての地位が強化されます。3 社は、今後数か月間で、液化水素運搬船で運ばれてきた水素の陸路への積み替えや道路・鉄道輸送に必要な物流要件を検証・評価します。また、バリューチェーン全体を網羅するコンソーシアムの形成に向けて、他の企業や機関の参加も促進していきます。



各社からのコメント

Daimler Truck

「今後も欧州はグリーンエネルギーの輸入に依存し続けるでしょう。その中で水素は重要な役割を果たします。このパートナーシップはその方向性における重要なステップであり、欧州が液化水素分野でリーダーシップを発揮するためには、こうした取り組みがさらに必要です。特筆すべきは、当社の Mercedes-Benz GenH2 トラックが液化グリーン水素で走行できるだけでなく、液化水素そのものを陸路で輸送できる点です。さらに素晴らしいのは、水素によって脱炭素化のスピードを加速できることです。これは、すでに遅れている電力網の拡張の規模とコストを削減することにもつながります。」

— Daimler Truck AG 取締役会メンバー 兼 トラック技術部門責任者 Dr. Andreas Gorbach

HHLA

「水素は気候中立な未来への鍵のひとつであり、HHLAはこの変革を主体的に形づくっていく姿勢を明確にしています。液化水素は、パイプラインに依存せずに輸送できるため、モビリティ、物流、航空、特に中小企業にとって決定的な利点となります。私たちの目標は、欧州の物流ネットワークを通じて産業界に水素を安定供給することです。川崎重工および Daimler Truck とのパートナーシップは、液化水素の普及と脱炭素化の推進に向けた重要な一歩です。」

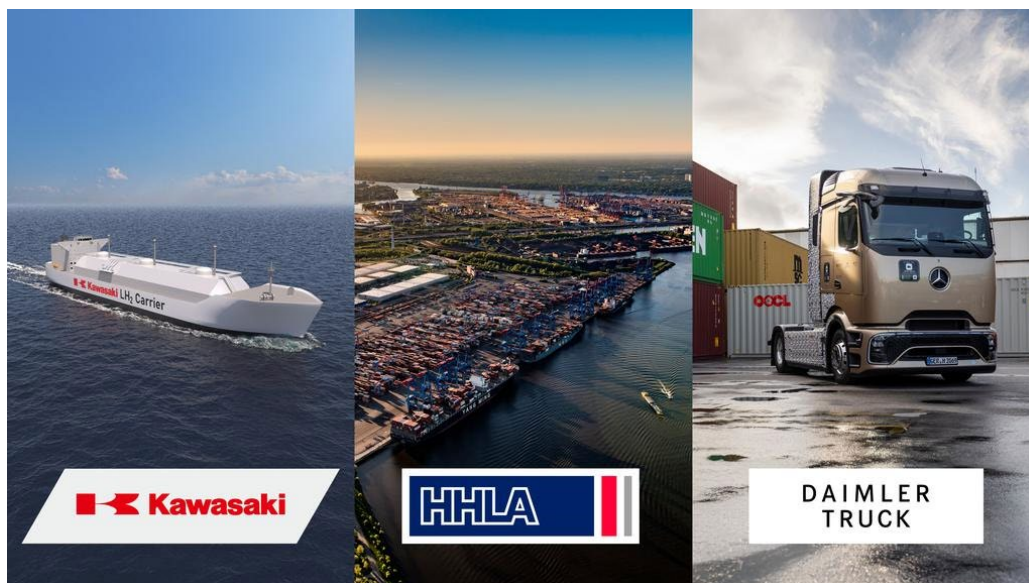
—HHLA 最高財務責任者（CFO） アネッテ・ヴァルター

川崎重工

「液化水素は、持続可能なエネルギー社会の実現に向けた重要な鍵であり、当社はその技術的基盤の構築に長年取り組んできました。今回の MoU 締結により、HHLA および Daimler Truck とともに、ハンブルク港を起点とした液化水素のサプライチェーン構築に向けた実現可能性を検討できることを大変嬉しく思います。」

川崎重工は、液化水素の製造・貯蔵・輸送・受入に関する技術と実績を有しており、これまで培ってきた知見を活かして、先般 MoU を締結した日独 5 社※をはじめとする「なかま」とともに、欧州における液化水素サプライチェーンの形成に貢献してまいります。今後も、脱炭素社会の加速に向けて、グローバルなパートナーシップのもと、液化水素の利活用拡大に取り組んでまいります。」

—川崎重工工業株式会社 水素戦略本部長 野村 圭



※「日独連携水素サプライチェーン構築に向けた覚書」を締結（2025 年 9 月 15 日）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20250915_1.html